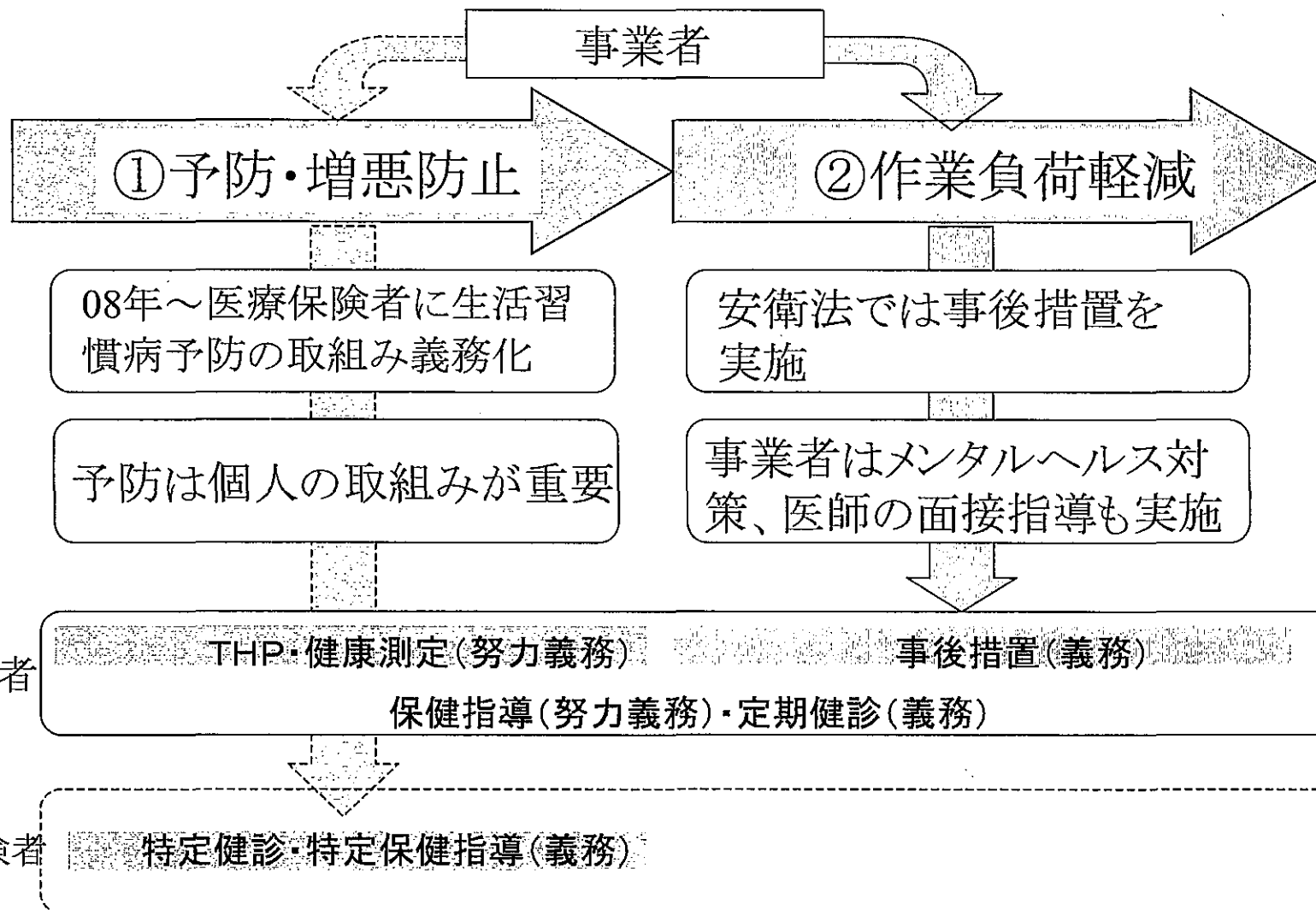


I. 安衛法の定期健診項目を拡大することは適切ではない

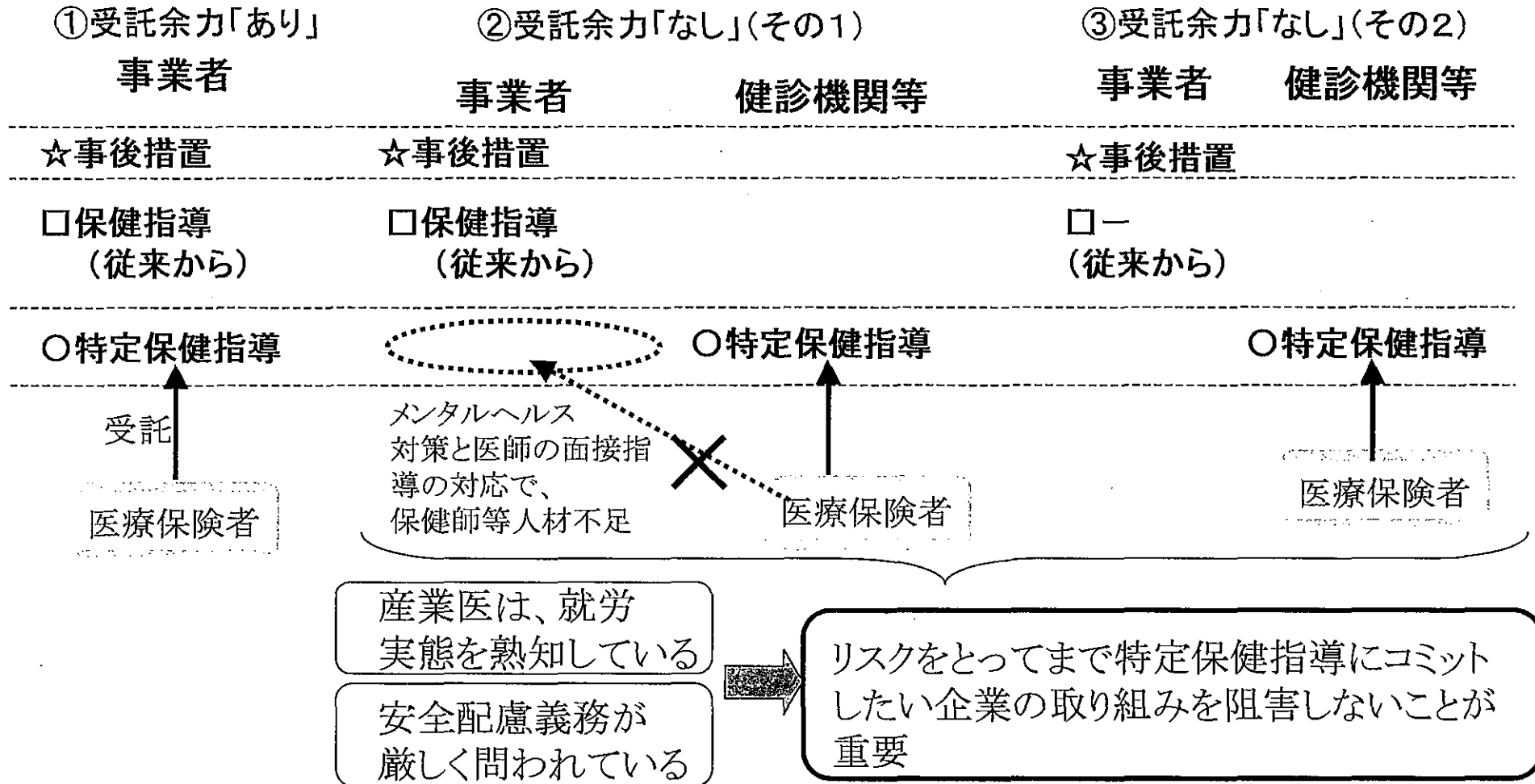
生活習慣病基礎疾患

作業関連疾患の発生



☆高齢者医療法の施行に伴ない、医療保険者、事業者、労働者の役割を見直し、安衛法の守備範囲を狭めるべき。少なくとも、健診項目の拡大はすべきでない。

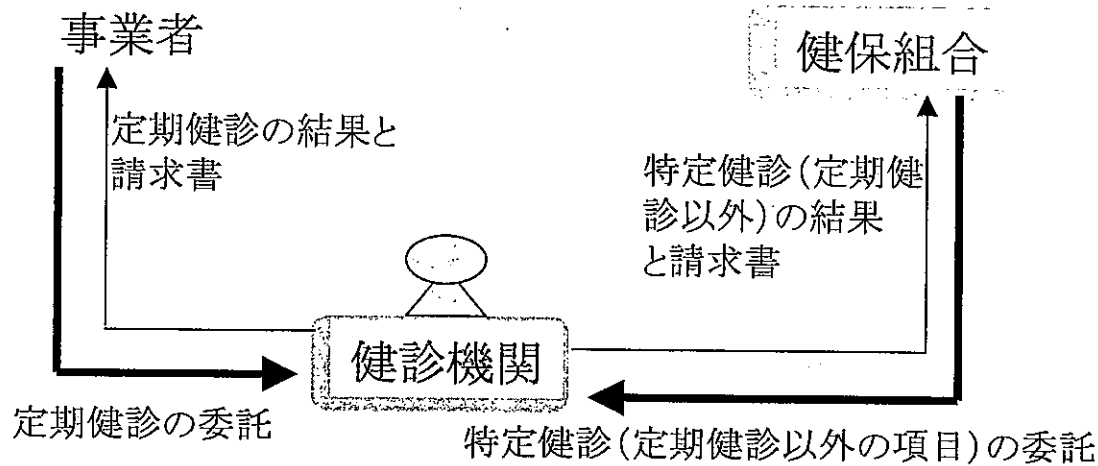
Ⅱ. 産業医の位置付けを明確化する必要がある



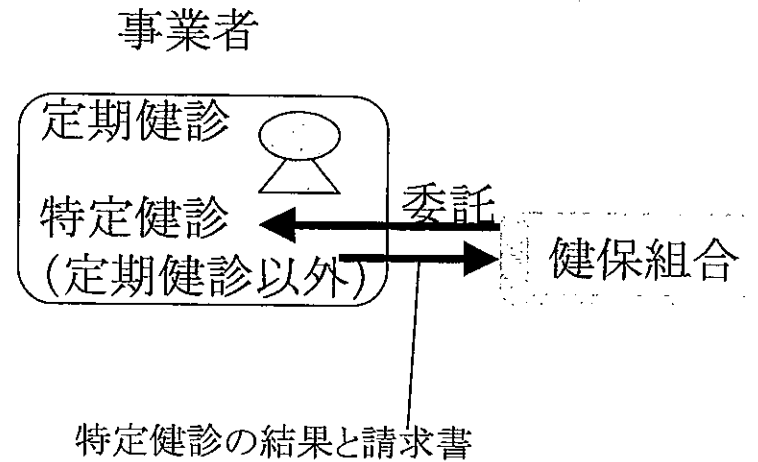
☆事業者が申し出れば、産業医が特定健康診査に何らかコミットできる仕組みを設ける

Ⅲ. 健診項目にズレがあっても、受診を1回にする方法はある

組合健保(1)



(2)



政管健保

